麻生学園小学校

校長室だより

NO　１５　　発行：校長　　Ｒ７．７／２４(木)

学校の教育活動から

○全校朝会での児童代表の作文発表

本日、夏休み前の全校朝会を行い、その中で２年生の Ａ・Ｓ さんと４年生の Ｓ・Ｔさんが、作文を発表してくれました。

Ａ・Ｓさんは、２年生なって頑張ったこととして次の二つを発表してくれました。一つは、実力テストの勉強を頑張って満点をとり、お父さんとお母さんが喜んでくださったこと。そして、もう一つは図書係の活動でみんなに「読み聞かせ」をしたことです。“面白い本の選定”や“聞きやすいように読む練習”を通して当日上手に読み聞かせができ、たくさんの拍手がもらえたときの嬉しい気持ちを発表してくれました。

Ｓ・Ｔさんは、４年生になってからの様々な活動や今後のこと等について発表してくれました。新しく委員会活動(運営委員会)やクラブ活動（ものづくりクラブ）が始まり、楽しく、そして責任をもって活動している気持ちを伝えてくれました。さらに勉強面での入試対策の授業、週テストや知のオリンピック、そしてノート大賞に選ばれたことなど勉強を頑張っていること述べられました。今後、目標をもって努力し、２年後の受験に向けての決意が伝わってきました。

○校内児童画展表彰

同じく全校朝会で、校内児童画展の表彰をしました。それぞれにメダルを獲得した児童を紹介します。メダルを獲得した児童はもちろん、獲得できなかった児童も、とても素晴らしい絵が描けていました！

【１年生】	（金）Ｍ・Ｓ さん	（銀）Ｎ・Ｍ さん	（銅）Ｙ・Ｓ さん
【２年生】	（金）Ｂ・Ｈ さん	（銀）Ｎ・Ｋ さん	（銅）Ａ・Ｍ さん
【３年生】	（金）Ｒ・Ａ さん	（銀）Ｓ・Ｍ さん	（銅）Ａ・Ａ さん
【４年生】	（金）Ｉ・Ｋ さん	（銀）Ｔ・Ａ さん	（銅）Ｉ・Ｎ さん
【５年生】	（金）Ｋ・Ｎ さん	（銀）Ｈ・Ｓ さん	（銅）Ｓ・Ｈ さん
【６年生】	（金）Ｕ・Ｔ さん	（銀）Ｙ・Ａ さん	（銅）Ｓ・Ｓ さん

感じたことから

○アクセル、ブレーキ、そしてハンドル（全校朝会でお話した内容）

“車”を動かすときにはアクセルを踏み、止まるときにはブレーキを踏みます。“車”を動かしたり止めたりするこのアクセルとブレーキですが、これを“私たち自身”を動かすものとして考えてみることができます。

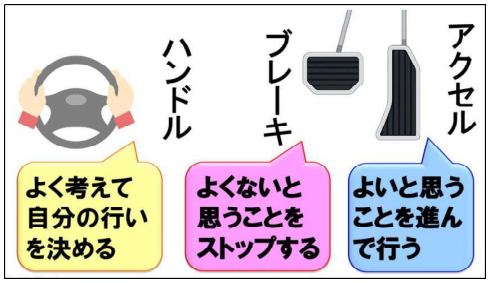
「いつまでも寝ていたいけれど、アクセルを踏んで、早起きしてみる」
「ゆっくりしたいけど、アクセルを踏んで勉強に取りかかる」
「ゲームをしたりスマホを扱ったりを続けたいけど、気持ちにブレーキをかけてやめる」等です。

アクセルは、やるべき自分、なりたい自分になるために、自らの意志で踏みこむことで前に進むことができるもの です。

ブレーキは、「これは行き過ぎかな」「行うべきではないのではないか」など、自分で自分に問いかける“心のブレーキ”として作用させるもの です。

さらに、“車”を動かす際には、進む方向を定めてくれるハンドルも極めて重要です。そしてこのハンドルも“私たち自身”が動く方向を決めるものとして考えることができるでしょう。

日差しが強い日に“面倒だから帽子をかぶりたくない”と“帽子を被って頭を守らなければ”という二つのハンドルの切り方の中で、「熱中症が恐いので帽子を被ろう」というでハンドルを切ることができるといいのですが･･･。

ハンドルに関してですが、私たちは常に“どちらに進むか”“何を選ぶか”を選択しながら生きています。「今どの方向に進んでいるか」「目的に向かっているか」「誤った方向に進んでいないか」などを確認しながらハンドルをさばいていきたい ものです。

そして、このアクセル、ブレーキ、ハンドルの操作は学校生活を送っている際には、先生が促してくれたり、チャイムや放送が知らせてくれたり、友達の言動が後押ししてくれたりします。しかし、夏休みは、こうした支えはありません。自分自身にその操作は委ねられます。強い意志をもって、自分自身のハンドルで行動の方向を決め、アクセルを踏んで動き出し、場合によってはブレーキを踏んで自分の行動を制御してほしいと思います。こうした操作が上手くできたときこそ、充実した夏休みを過ごせたといえることでしょう。